



あなたの夢に挑戦します。

2016年度 連結決算の概要

決算説明会

2017年4月27日

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。本資料において当社の将来の内容・業績を保証するものではありません。

蝶理株式会社

① 本日のポイント

業績の特徴

▶ **経常利益は過去最高益更新**

配当

▶ **増配修正**

トピック

▶ **新中期経営計画**

「Chori Innovation Plan 2019」策定

世界経済の状況

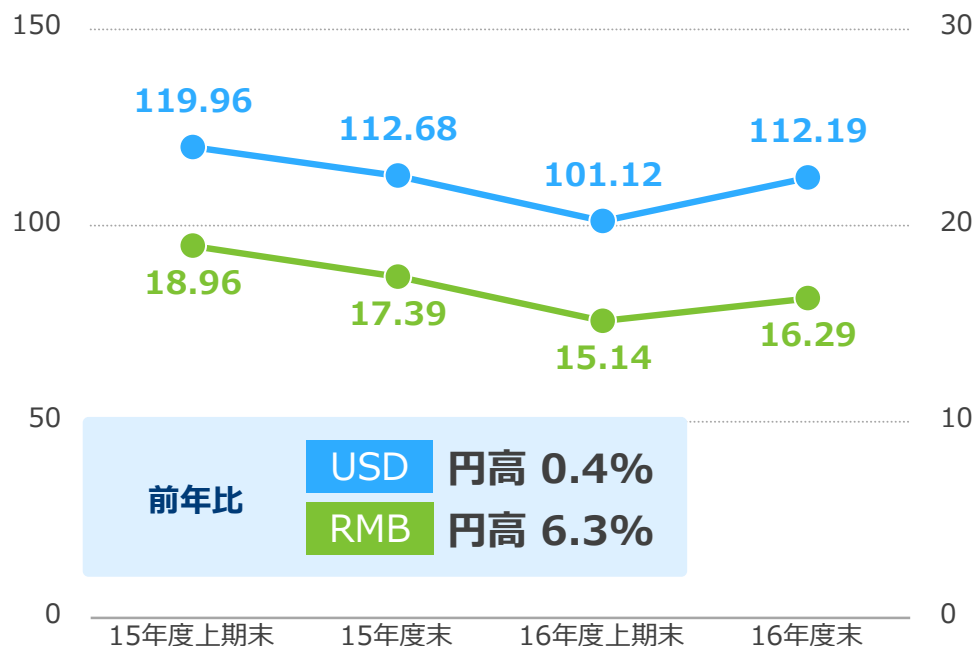
中国や新興国の景気減速、米国新大統領の経済・貿易政策の動向や英国のEU離脱問題等不透明な状況。

日本経済の状況

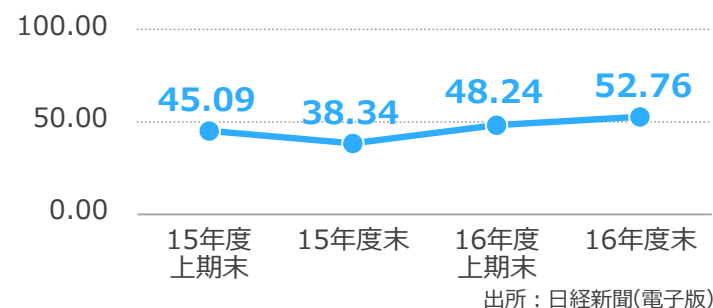
企業の景況感に緩やかな回復が見られるものの、個人消費は依然、低迷が続く。

市況動向

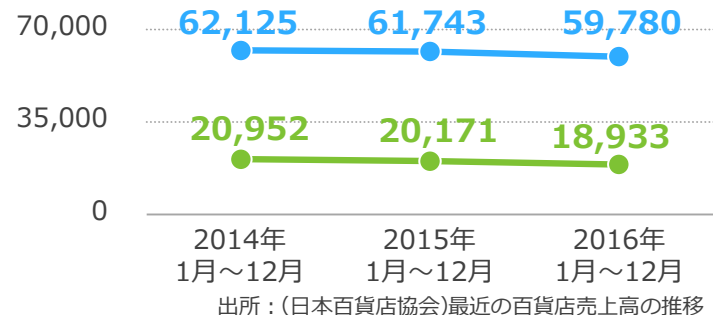
為替レート (当社期末日レート) (単位:円) ●USD [左軸] ●RMB [右軸]



原油価格 (NY原油) (単位:ドル/バレル)



全国百貨店売上高 (単位:億円) ●全商品 ●衣料品





- 売上高は期中円高の影響による貿易取扱高の減少を主因に減収。
- 採算向上により各段階利益ともに大幅増益。
経常利益は過去最高益を大幅更新(2011年度：61億円)。

(単位：億円)

	15年度	16年度	増減額	増減率
売上高	2,916	2,709	-207	-7.1%
売上総利益	248	251	+4	+1.4%
売上総利益率	8.5%	9.3%	+0.8%	-
販売費及び一般管理費	194	187	-7	-3.7%
営業利益	54	64	+11	+20.1%
経常利益	55	70	+14	+26.3%
税金等調整前当期純利益 (セグメント利益)	70	72	+1	+2.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	43	48	+5	+11.2%



● 売上高は減収も、利益面は達成。

(単位：億円)

	16年度 期初予想	16年度 業績予想(※)	16年度 実績	増減額	達成率
売上高	3,000	2,800	2,709	-91	96.8%
営業利益	60	64	64	+0	100.8%
経常利益	64	68	70	+2	102.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	44	47	48	+1	101.7%

(※) 2017年1月26日業績予想修正

(単位：億円)

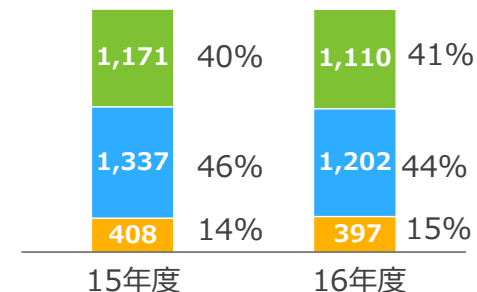
売上高

POINT

期中円高の影響による
貿易取扱高の減少を主因に
減収。

	15年度	16年度	増減額
繊維	1,171	1,110	-61
化学品	1,337	1,202	-135
機械	407	396	-11
その他	1	1	-0
合計	2,916	2,709	-207

■ 繊維 ■ 化学品 ■ 機械他

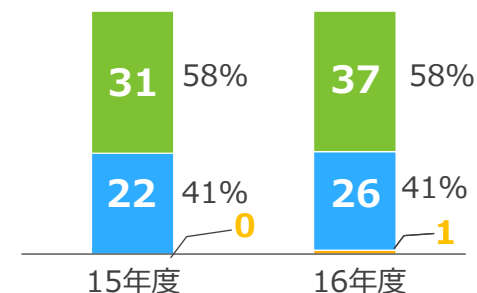


営業利益

POINT

採算向上により各セグメント
ともに大幅増益。
製品分野の構造改革による
収益改善も貢献。

	15年度	16年度	増減額
繊維	31	37	+6
化学品	22	26	+4
機械	-0	1	+1
その他	0	0	+0
合計	54	64	+11

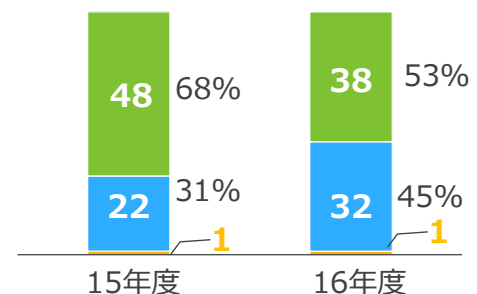


税金等調整前 当期期純利益

POINT

営業利益増益及び固定資産
売却益計上に伴い増益。
(前期は投資有価証券売却益あり)

	15年度	16年度	増減額
繊維	48	38	-10
化学品	22	32	+11
機械	0	1	+0
その他	1	1	-0
合計	70	72	+1



(単位：億円)

	15年度	16年度	増減額
売上高	1,171	1,110	-61
営業利益	31	37	+6
税金等調整前当期純利益 (セグメント利益)	48	38	-10



- 期中円高による貿易取扱高の減少を主因に減収。
- 製品分野の構造改革により収益改善、素材分野も堅調に推移し、営業利益は大幅増益。
- 前期は投資有価証券売却益があり、税前利益は減益。

好調

合繊原料

堅調

建材・衛材、ユニフォーム

改善

婦人アパレル

③ 業績内容

化学品事業

(単位：億円)

	15年度	16年度	増減額
売上高	1,337	1,202	-135
営業利益	22	26	+4
税金等調整前当期純利益 (セグメント利益)	22	32	+11

POINT

- 期中円高による貿易取扱高の減少、加えて、ナフサ価格下落による基礎化学品の単価ダウンの影響を受け減収。
- M&A子会社の連結寄与等により増益。
- 税前利益は不動産売却に伴う固定資産売却益も計上し増益。

堅調

医農薬中間体、無機ファインケミカル

回復

有機化学品

(単位：億円)

	15年度	16年度	増減額
売上高	407	396	-11
営業利益	-0	1	+1
税金等調整前四半期純利益 (セグメント利益)	0	1	+0



- 期中円高による貿易取扱高の減少等により減収。
- 取引採算の改善により、営業利益・セグメント利益増益。

回復

中南米向け車輛

形態別売上高



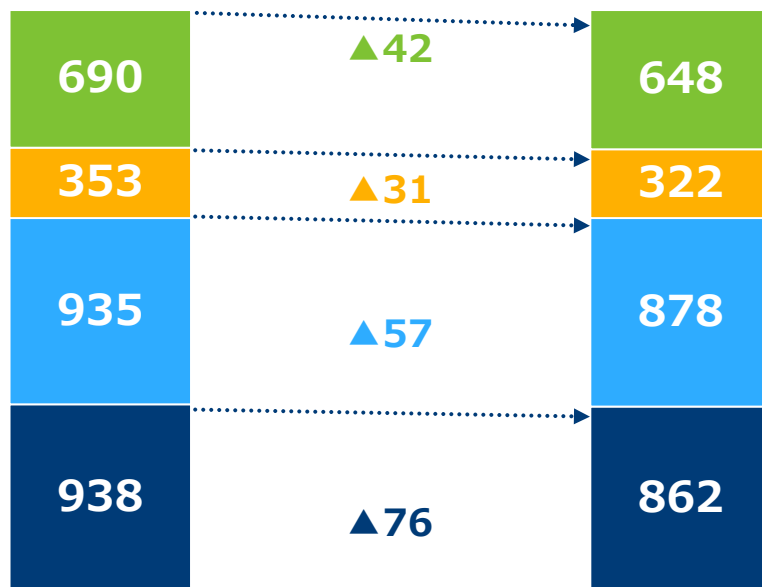
- 貿易取引額は期中円高の影響により、減収。貿易比率は上昇。
- 国内売上高はミヤコ化学及び繊維製品を中心に減収。

売上高 2,916
貿易取引 1,978
(貿易比率) (67.8%)

売上高 2,709
貿易取引 1,847
(貿易比率) (68.2%)

(単位：億円)

- 輸入
- 輸出
- 海外
- 国内



輸入売上高

海外から日本国内への売上額

輸出売上高

日本国内から海外への売上額

海外売上高

海外取引の売上額

国内売上高

日本国内の売上額

15年度

16年度

POINT

- 総資産は前年並み。
- 財務基盤は安定。自己資本比率 47.2%

(単位：億円)

	15年度末	16年度末	増減
現金及び預金・預け金	115	103	-12
受取手形及び売掛金	532	540	+8
在庫	125	127	+2
その他	40	38	-2
流動資産合計	812	808	-4
有形固定資産	27	24	-4
無形固定資産・投資その他の資産	148	148	+1
固定資産合計	175	172	-3
資産合計	987	980	-8

	15年度末	16年度末	増減
流動負債	524	489	-35
(内、短期借入金)	(28)	(35)	(+7)
固定負債	34	27	-7
(内、長期借入金・社債)	(8)	(-)	(-8)
負債合計	559	516	-42
株主資本	419	453	+34
その他の包括利益累計額	9	9	+0
非支配株主持分	1	1	+0
純資産合計	429	463	+35
負債純資産合計	987	980	-8

キャッシュ・フローの状況

POINT

- 売上債権増加及び仕入債務減少により営業CFは前年比減少。
- 前期は、ミヤコ化学の大型M&Aを実行。

(単位：億円)

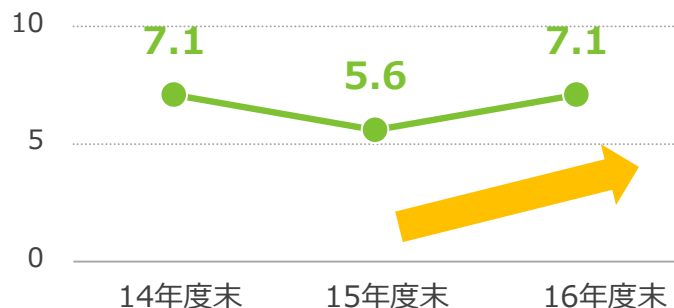
	15年度	16年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	50	6	-44
投資活動によるキャッシュ・フロー	-44	1	+45
財務活動によるキャッシュ・フロー	-15	-14	+1
換算差額	-2	-3	-2
キャッシュ・フロー一計	-11	-10	+1
現金及び現金同等物の高	105	95	-10



- 増益によりROA良化。
- ROE向上。10%以上を維持継続。

ROA（経常利益ベース）

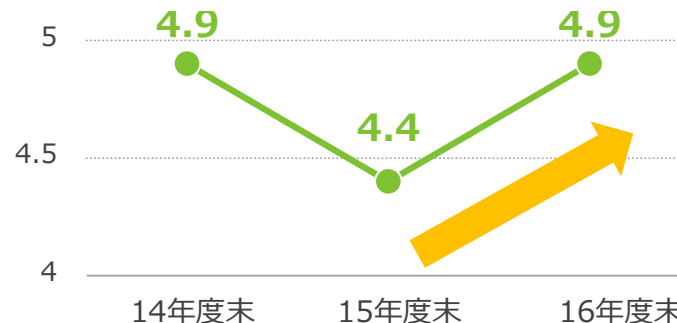
(単位：%)



ROA（親会社株主に帰属する

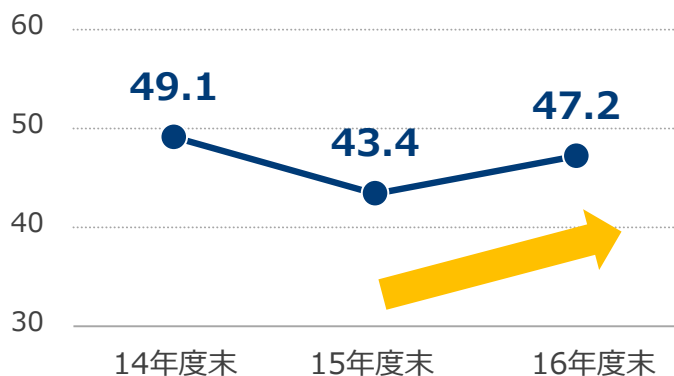
当期純利益ベース)

(単位：%)



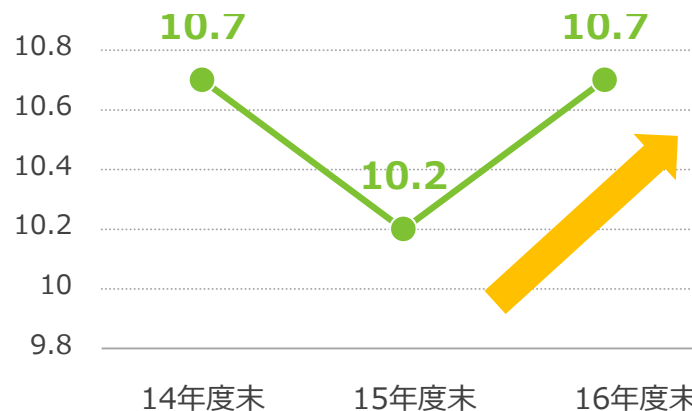
自己資本比率

(単位：%)



ROE

(単位：%)





● 新規開発・事業投資、M&Aを通じて、
事業範囲拡大・連単倍率拡大を推進。

新規開発 (事業投資)

2016年度

新規開発テーマ15件

(繊維11件、化学品・機械4件)

年間開発費

約5億円

テーマ例

- ・インドネシアでの
フォーマルブラック
一貫生産
- ・海外新規拠点進出支援 他

M&A大型事業投資

	投資額
ミヤコ化学(株)	66億円
ピー・ティ・アイ・ ジャパン(株)	15億円
(株)東京白ゆり會	11億円
MEGACHEM LIMITED	9億円
蘇州飛樂電子 元件有限公司	3億円
青島紅蝶新材 料有限公司	4億円
合 計	109億円

連単倍率の拡大

経常利益連単倍率

14年度

1.20倍

15年度

1.17倍

16年度

1.28倍



- 新中期経営計画「Chori Innovation Plan 2019」の初年度として重要テーマを推進し、過去最高益を再更新。
- 2016年度は子会社で不動産売却等の一過性の利益要因があったため、当期純利益は減益。

(単位：億円)

	16年度 実績	17年度 業績予想	増減額	増減率
売上高	2,709	2,800	+91	+3.4%
営業利益	64	68	+4	+5.5%
経常利益	70	72	+2	+3.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	48	45	-3	-5.9%

株価 (参考)



2014年度末

2015年度上期末

2015年度末

2016年度上期末

2016年度末



あなたの夢に挑戦します。

あなたの夢に挑戦します。

蝶理株式会社